



琉球大学学術リポジトリ

University of the Ryukyus Repository

Title	資料等(平成29年度大学教育センターFD・SD一覧)
Author(s)	-
Citation	琉球大学大学教育センター報 = University Education Center Bulltein(21): 113-140
Issue Date	2019-03
URL	http://hdl.handle.net/20.500.12000/44587
Rights	

No.	タイトル名等	対象者	開催日時等	参加者数 (人)	概 要
1	全学学士教育プログラム委員会	学士教育プログラム委員会委員、他関係教職員	定例開催による毎月第一水曜14:40～16:10 (全11回開催(内2回はメール会議・FD)) ※4、11月は日程変更有り、5月はメール会議、9月休会	延べ数 383名 (1回あたり34名)	URGCC導入6年目である29年度は、全10回の委員会と全9回のWGを開催し、以下の4つを中心に取り組んだ。 1 学生の学修成果の客観性・厳格化の確保 2 教育カリキュラム・内容の改善 3 学士教育の現状分析 4 7つのURGCC学習教育目標の見直し 【発行物】 URGCC 琉球大学 学士教育プログラム (平成30年度版) URGCC FDガイド (第3巻3つのポリシー編) 【委員会内でのFD】 学生調査結果の活用報告…3月委員会内で実施 (鹿内委員…農学部)
2	全学大学院教育プログラム委員会	大学院教育プログラム委員会委員、他関係教職員	定例開催による毎月第三水曜14:40～16:10 (全10回開催(内1回はメール会議)) ※4、3月は日程変更有り、5月はメール会議、8、9月休会	延べ数 313名 (1回あたり31名)	全10回の委員会と全10回のWGを開催し、以下の3つを中心に取り組んだ。 1 高度専門教育プログラムの拡充 2 大学院版URGCCの開発 3 全学共通コア科目の開発 【委員会内でのFD】 高度専門教育プログラムFD…7月委員会内で実施 (中尾委員…保健学研究科)
3	「ルーブリックを作ろう!～時短・ブレない・公平な評価方法～」	本学教職員	平成29年8月2日(水) 第1回10:20～12:20 第2回14:40～16:40	第1回6名 第2回14名	当機構が提供する教育内容及びその方法等の改善に向けた体系的な教職員研修プログラムの一環として、ルーブリック評価の入門レベルの解説をし、参加者全員で実際にルーブリックを作成した。 講師：浦田 悠 氏 (大阪大学)
4	琉球大学における新しい共通教育の内容と体制	本学教職員	平成30年2月15日(木) 13:00～15:00	51名	グローバル教育支援機構において共通教育等科目の見直しについて検討を進めているが、全学の意見を収集し、見直しに係る基本方針案に反映させるため、シンポジウムを開催した。
5	学生グループ活動において、「チームワーク」をどう促し、評価するか How do you promote and assess teamwork in group activities?	本学教職員	平成30年3月15日(木) 13:30～15:00	11名	チームワーク・スキルを示す基準や行動を明示することは、学生に「良いチームワーク」がいかなるものかを伝えるのに役立つ。また、各学生によるチームへの貢献に関する質とは何かを問うことは、フィードバックや目標を提示し、成果を向上させることにつながる。今回のワークショップでは、AAC&U (米国カレッジ・大学協会) の「学士課程における学習評価ルーブリック (VALUE)」における「チームワーク」の基準に基づいて、クィーンズ大学が開発した「TeamQ」 (チームワーク力評価枠組) の活用を紹介し、議論した。 講師：Andy Leger氏 (クィーンズ大学教授学習センター准教授)
6	「最適解導出力と批判的思考」	本学教職員	平成30年3月22日(木) 13:30～15:00	10名	URGCCにおける「21世紀型市民の育成」を進化させたコンピテンシー教育に取り組むことが検討されている。そこで「最適解導出力」を見据えた批判的思考について、法文学部准教授吉満先生より、これまで試験的に行ってきた授業方法の紹介をした。 講師：吉満昭宏 氏 (法文学部人間科学科准教授)